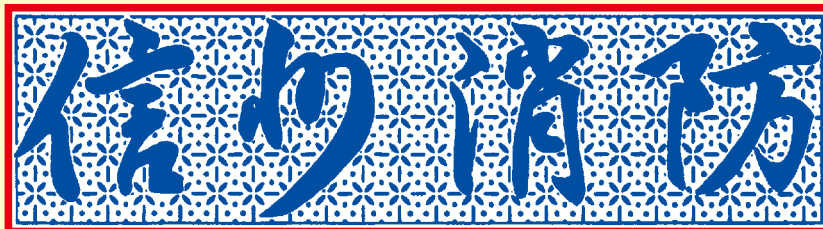


防火標語
急ぐ日も
足止め火を止め
準備よし



発行所
公益財団法人長野県消防協会
(長野県庁西庁舎)
〒380-8570
長野市大字南長野字幅下692-2
TEL (026) 232-5319
編集発行人
福澤賢治



新年明けましておめでとうございます。県下77消防団、2万8千2百人余の団員をはじめ、消防関係者の皆様におかれましては、健やかに令和8年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。消防団員の皆様には、大事な仕事や家庭を持ちながら、郷土への愛着と使命感により住民の皆様への命、身体及び財産を守り、安心、安全な暮らしを確保するため、日夜精励されておられますことに、敬意と感謝の意を表します。また、日頃より県消防協会に御理解と御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

近年、地球環境の変化などを背景に、国内はもとより世界各国において、これまでと様相の異なる災害が発生しております。昨年11月には大分県で大規模な火災が発生しました。お一人が亡くなり、焼失面積は約5万平米、180棟以上の住宅が全焼、鎮火まで17日を要するという火災でした。火の手が迫る中、消防団員が各戸を回り、高齢者など多くの住民を避難所へ車に載せて運んだと報じられました。ある専門家は「人的被害が最小限に抑えられたことは奇跡的だ」と評されております。言うまでもなく、消防団員の判断と行動が多くの住民の命を救いました。

県内においても、毎年林野火災や豪雨災害が発生しております。南海トラフ地震や東北沖を震源とする地震の発生についても想定される場所です。地域と住民を熟知して、身近で活動する私たち消防団に寄せられる期待は大きく、使命は益々重要となっております。一方で高齢化や地域コミュニティの変化、若者の価値観の多様化などにより、消防団員の確保や団活動の活性化が課題となっております。県消防協会といたしましては、消防団員の技術

新年のごあいさつ

公益財団法人長野県消防協会会長
福澤 賢治

向上や確保のための取り組みを支援するとともに、消防団員の皆様がやりがいを持って活動していただくため、各種講習や研修会、福利厚生、表彰、女性消防団員の活性化などに一層取り組んでまいり所存でございます。

「屠龍(竜)之技」(とりよのぎ・とりゅうのぎ)を紹介いたします。東京消防庁第六消防方面本部消防救助機動部隊(ハイパースキュー)が「心得」として揭示している言葉です。直訳すれば、龍を葬る技、実在しない龍を倒す技などいくら身に着けても意味はない、という無駄な努力を指すことわざです。

昔、中国の山奥に住み着いて、時折村人に害を及ぼした悪龍を退治しようとして、一人の青年が一生をかけて「屠龍(龍を屠る)の技」を磨いた。龍は二度とその姿を現さないまま青年は一生を全うした。村人の中には、無駄なことをしたと笑う者もいた。

非ず、悪龍は屠龍の技を磨いていた者が住む村を恐れて避けていたのである。龍の出現の有無にかかわらず、屠龍の技を磨く。但し現れたら一撃のもとにこれを屠る。災害に備えて常に訓練を重ねる。「何も無いこと」と「何も無いようにしたこと」とは天と地ほどの差がある、というのです。さらに次のように書き加えています。「われわれは龍の出現の有無に関わらず屠龍技を磨く。実際には天災は起きない方がいい。だから無駄になったほうがいい。ただし万が一、現れたら一撃の元にこれを屠る。それが我々の目指すところである。」

- 本来は無駄な努力を表す意味ですが、部隊ではこれをポジティブな意味にとって心得とされています。
- 本年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますように、また災害のない平穏な年となりますように心からお祈り申し上げます。
- | | |
|--------|-------|
| 会長 | 福澤 賢治 |
| 業務執行理事 | 坂巻 剛弘 |
| 副会長 | 出澤 重樹 |
| 副会長 | 奥原 康隆 |
| 元常務理事 | 柏木 智良 |
| 理事 | 小野 政仁 |
| 理事 | 由井 宏 |
| 理事 | 上原 亮一 |
| 理事 | 丸山 貴弘 |
| 理事 | 上沼 隆弘 |
| 理事 | 丸山 敏武 |
| 理事 | 横前 敏武 |
| 理事 | 澤木良太郎 |
| 理事 | 宮坂 明直 |
| 理事 | 沖中 良偉 |
| 理事 | 瀬在 順一 |
| 理事 | 藤沢 和人 |
| 理事 | 片桐 浩 |
| 理事 | 小菅 和重 |
| 理事 | 菊原 和博 |
| 理事 | 清水 良文 |
| 理事 | 丑沢 克年 |
| 監事 | |
| 評議員 | 五十嵐幸男 |
| 評議員 | 篠原 充彰 |
| 評議員 | 清水 健悟 |
| 評議員 | 二木 弘 |
| 評議員 | 松本 道夫 |

公益財団法人
長野県消防協会
謹賀新年

第2回理事會開催

令和8年度事業方針を決定

12月9日(火)、第1回専門委員会と第2回理事會を長野市で開催しました。各理事には所属の総務、教養、福利厚生等の専門委員会で、8年度事業方針案を協議していただき、続く理事會で各委員長(副会長)が結果を報告。事業方針は原案通り承認されました。



渡邊 県危機管理部長 来賓あいさつ

クは、ホームページにリンクを貼り、主要行事や各消防団の事業を掲載します。

③「県消防団長・事務主任研修大会」と合わせて「県女性消防団員活性化大会」を開催します。大会内容の検討や準備、各地の女性消防団員の情報交換のため、県女性消防団員活性化会議を引き続き開催します。

④県の関与として、8年度も事業費補助及び県協会運営への参加を依頼します。また、地区協会に行う補助事業は補助対象を広げるように見直しを行い、効果的な活用を図ります。

【教養専門委員会関係】

①第68回県消防ポンプ操法大会は、7月12日(日)、県消防学校で行います。今後実施要綱を作成し、理事會で協議いただきます。

(1) 操法実施要領及び操法大会審査要領は、必要に応じて修正しますが、大きな改正は見込みです。

(2) 運営方法
・選手及び選手関係者の負担軽減と競技の効率化のため、今年度同様に入替え方式とします。

・開始式への地区消防協会役員及び来賓等の参加については、今後理事會で協議いただきます。
②第35回県消防ラッパ吹奏大会は、県消防ポンプ操法大会と同日、県消防学校屋内訓練場で行います。

(1) 実施要領は大きな改正は見込みです。
(2) 今年度同様に入替方式とし、

ラッパ吹奏の時間をポンプ操法の時間とずらします。

(3) ブロック推薦審査員は、ブロック内の各地区協会に決定し、報告いただきます。3月の第3回理事會の承認をもって正式決定とします。

(4) ラッパ吹奏講習会は県消防学校ラッパ科講師の指導のもと、ブロック推薦審査員4名にも参加いただき4月18日(土)午後、県消防学校で行います。
③第16回長野県消防団長・事務主任研修大会を10月24日(土)午後1時から、長野市で行います。

④副団長講習会は、6月6日(土)午後、県消防学校で行います。なお、隔年開催として、8年度の次は10年度に行います。

⑤消防団員指導員研修は、12月10日(木)と11日(金)に泊2日の日程で県消防学校で行います。

⑥消防団員幹部特別研修(日本消防協会主催)は、1月12日(火)から15日(金)まで東京都で行われます。参加者1名の割当は、東信ブロックです。

⑦消防団幹部候補中央特別研修(日本消防協会主催)は、男性が1月27日(水)から29日(金)、女性が2月17日(水)から19日(金)まで東京都で行われます。参加者男女各1名の割当は、中信、南信、北信の各ブロックです。

⑧第31回全国消防操法大会は、10月31日(土)・30日(金)は激励交流会に東京都臨海広域防災公園で行われます。県大会の小型ポンプ操法優勝チームが県代表として出場します。

⑨第31回全国女性消防団員活性化北海道大会は、9月25日(金)に札幌市で開催されます。

【福利厚生専門委員会】

①日本消防協会の消防団員等福祉共済は、県下消防団員が全員加入しています。消防個人年金、全日本消防人共済会の火災共済にも多くの団員に加入いただくよう、各団に呼び掛けていきます。

②県消防関係殉職者慰霊祭は、9月2日(水)長野市花岡平で行います。開催当番は当協会です。
③第45回全国消防殉職者慰霊祭は、9月10日(木)東京都で行われます。

④日本消防協会の福祉共済及び長野県消防協会定款細則に基づく弔慰金等について、請求漏れがないように制度の周知を図ります。

⑤信州消防団員応援ショップ事業について、団員へ周知するため、ホームページや機関紙「信州消防」により積極的に広報していきます。

信州消防団員 応援ショップ

店舗登録 募集中!

消防団員とご家族のご利用をお待ちしております。

県協会定例表彰

7年度の長野県消防協会定例表彰は、79団(団及び分団)と2,449名を表彰、市町村の出初式等で授与されます。

- ・優秀章 10団
- ・無火災賞 4団・51分団
- ・特別無火災賞 14分団
- ・功績章 80名
- ・永年勤続功労章 319名
- ・功労章 216名
- ・努力章 191名
- ・精績章 289名
- ・技術章 191名
- ・精勳章 144名
- ・退職者感謝状 19名

消防関係者 秋の叙勲

県内から5名が受章の栄に浴されました。(敬称略)

- ◆瑞宝単光章
 - 元長野市消防団分団長 清水 宗
 - 元長野市消防団分団長 蓑 茂幸
 - 元長野市消防団分団長 和田 幸文
 - 元松本市消防団分団長 忠地 祐一
 - 元木曾町消防団副団長 古坂 貴幸

第15回長野県消防団長・事務主任研修大会開催

10月8日(水)、松本市内で第15回長野県消防団長・事務主任研修大会を開催しました。大会には消防団長、事務主任、地区消防協会幹事合わせて151名が参加。前半で、県消防ポンプ操法、ラッパ吹奏大会の表彰式と県消防団協力事業所等知事表彰式を実施しました。後半は県消防防災航空センター安全運航管理幹の上條信男氏により「消防団と航空隊の活動連携と安全管理」について講義いただきました。



した。グループ討議の部では、各消防団の課題や取り組み事例の紹介など活発な意見交換が行われました。



消防団員指導員 研修を実施



副団長、分団長等指導的立場の消防団員を対象に、12月11日(木)と12日(金)の二日間、県消防学校で消防団員指導員研修を実施しました。研修には全地区消防協会から32名が参加。福澤会長の講話、県危機管理部職員、県消防学校教官による講義や実技などの講座を受講いただきました。

◆受講者名簿

消防団名	階級	氏名
佐久穂町消防団	分団長	倉澤 享志
佐久穂町消防団	分団長	奥水 信二

佐久市消防団	分団長	山浦 良介
小諸市消防団	副分団長	神津 弘幸
軽井沢町消防団	副分団長	坂本 優希
御代田町消防団	班長	清水 康弘
上田市消防団	分団長	宮原 匡
長和町消防団	副団長	鷹野原 大樹
青木村消防団	副分団長	宮原 一昌
岡谷市消防団	副団長	増澤 浩文
富士見町消防団	分団長	矢沢 忍
原村消防団	副団長	鎌倉 千明
伊那市消防団	副団長	井出 順徳
辰野町消防団	副団長	中谷 洋平
中川村消防団	副団長	諏訪 正樹
売木村消防団	副団長	村澤 健吾
上松町消防団	副分団長	上田 康平
南木曾町消防団	副団長	古根 逸
玉滝村消防団	副団長	下出 竜二
松本市消防団	副分団長	百瀬 晃
塩尻市消防団	副分団長	養島 太郎
安曇野市消防団	副分団長	萩原 順也
朝日村消防団	分団長	萩原 茂裕
大町市消防団	副分団長	松野 正成
池田町消防団	分団長	立野 孝明
坂城町消防団	分団長	金子 淳也
小布施町消防団	分団長	小林 佳佐好
高山村消防団	副団長	片桐 基貴
長野市消防団	副分団長	宮林 伸夫
信濃町消防団	副分団長	佐藤 一幸
山ノ内町消防団	副団長	中村 光孝

第30回全国女性消防団員活性化長崎大会に参加



11月13日(木)長崎市で第30回全国女性消防団員活性化大会が開催され、女性消防団員や関係者約2,500名が集まりました。



た。当県からは、福澤会長、副会長、14市町村消防団の女性消防団員、関係者合わせて58名が参加。ステージでの活動事例発表、記念講演、パネルディスカッションなど、ロビーでは33消防団の展示発表が行われ、会場は女性消防団員の熱気で溢れました。来年は9月25日、札幌市で開催されます。

参与会開催

11月5日(水)長野市内で、参与会(県協会長経験者13名)を開催しました。参与9名、評議員4名と正副会長が出席。参与会正副会長の改選が行われ、会長に塩崎貞夫氏(須坂市)、副会長に倉坂正道氏(御代田町)が就任しました。前会長の中澤學氏(長野市)は相談役となりました。会議後は県渡邊危機管理部部長を来賓に迎え、懇親会を行いました。



消防出初式各地で
挙行される

令和8年新春の消防出初式が県下各地で挙行されています。(1月実施66、4月実施6市町村)知事、副知事及び県協会長の出席は次の通りです。

阿部知事

1月18日(日)松川村、池田町

新田副知事

1月4日(日)松本市、高森町

福澤会長

1月4日(日)松本市、5日(月)川上村、10日(土)長野市、11日(日)東御市、12日(月)飯田市、13日(火)軽井沢町



1月10日 長野市 部隊行進



1月4日 松本市 観閲式



1月12日 飯田市 家族表彰

第2回県女性消防団員
活性化会議開催

11月29日(土)県女性消防団員活性化委員8名が出席し、第2回県女性消防団員活性化会議を県消防学校で開催しました。今回の会議には須坂市消防本部、須坂市消防団の指導、協力を得て、ドローン体験講習会を実施。全員が真剣に取り組んでいました。



第26回全国女性消防操法大会に出場して

安曇野市消防団女性消防隊 団員 2番員 渡邊 加奈



練習場は、私たちの大切な居場所となりました。

取り組みは5月1日の説明会から始まり、立候補者は10名と関心の高さを実感しました。4月入団の私は聞き慣れない号令に必死でついていき、選手選考の30m走では肉離れを起こす不安も抱えましたが、無理をしない練習量と体のケア、食事管理を徹底し、本番まで心身を整えました。

選手発表で惜しくも名を呼ばれなかった仲間の涙を見たとき、彼女たちの思いも背負って全力で臨む覚悟が固まりました。7月からは服装点検、水出し訓練が始まり、新聞・テレビで紹介されると地域や職場から多くの激励をいただきました。練習日は週2回。

10月28日、横浜赤レンガ倉庫で開催された第26回全国女性消防操法大会に、長野県代表として出場しました。本大会は2年に1度開かれており、安曇野市としては初めての出場となり、隊長・指揮者・1〜4番員・補助員の計7名で編成されたチームの一員として、私は2番員を務めました。

選手は50〜60歳代のいわゆる「おばちゃんチーム」でしたが、人生経験豊富で明るく前向きなメンバーばかり。ポンプ操作は初挑戦でも、ここ一番の集中力と心意気は誰にも負けませんでした。笑いの絶えない

全国大会では仲間と指導員のおかげで平常心を保ち、普段通りの操法を披露。結果は44チーム中21位と目標には届きませんでした。怪我なく本番に立ち任務を果たせたことへの安堵と達成感が大きく残りました。入団1年目で挑んだ半年間は私の宝物です。これからも年齢や性別にとらわれず挑戦を続け、女性消防隊の一員として地域に貢献したいと思えます。支えてくださった皆様

に心より感謝申し上げます。

